

## 新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年9月16日（木）

午前10時00分 開会

午前11時00分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（11名）

委員長	呉屋 等
委員	伊佐文貴
委員	上里広幸
委員	濱元朝晴
委員	知念秀明
委員	—

副委員長	伊佐哲雄
委員	又吉亮
委員	屋良千枝美
委員	宮城司
委員	桃原朗
委員	伊波一男

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（1名）

委員	宮城力
----	-----

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（2名）

健康推進部 次長	松本勝利
-------------	------

健康増進課 課長	玉城悟
-------------	-----

○ 参考人（0名）

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

主任主事	渡嘉敷真
------	------

○ 協議案件

自宅療養者支援及びワクチンの接種状況について

## 新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

令和3年9月16日（木）

○**呉屋等 委員長** ただいまから新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時00分）

### 【協議事項】

自宅療養者支援及びワクチンの接種状況について

○**呉屋等 委員長** ただいまより委員会を開会いたします。担当部署から本日配付されている資料について説明願いたい。

※健康推進部次長、資料の説明を行う。

○**伊波一男 委員** 陽性者の情報は県から提供されるのか。自宅療養者への支援については、県の配食サービスが届くまでの3日間程度を補完するものと伺ったが、本人からの申請がなければ行わないと理解してよいか。

○**健康推進部次長** 人数については情報提供があるが、それ以上の情報はない。自宅療養者への支援については、県の事業が利用できるが、支援まで時間を要することもあることから、市の事業で補完するものである。申請に応じて支援物資を提供するが、ホームページやSNSに加え、自治会や包括支援センターなども通じて周知を行っている。

○**伊波一男 委員** 自宅療養者への支援実績を伺いたい。

○**健康推進部次長** 9月8日から事業を開始しているが、9月8日、1世帯4人、9月9日、7世帯22人、9月10日、3世帯7人、9月13日、2世帯12人、9月14日2世帯、6人でこれまでの合計で15世帯、51人へ支援を行った。

○**伊波一男 委員** 資料提供を頂きたい。

○**健康推進部次長** 資料を提供してまいりたい。

○**伊波一男 委員** 県から陽性者情報をいただくことは難しいのか。

○**健康推進部次長** 市長名で申し入れもしてきたが、個人情報でもあるため、提供はできないとのことである。

○**伊波一男 委員** 本市の自宅療養者支援事業は市の財源で行っているのか。

○**健康推進部次長** 早急に事業を行う必要があることから、市の財源で行っている。

○**伊佐文貴 委員** 支援を申し込んだ世帯に対象者が複数人いる場合、人数分の支援

を行うと理解してよいか。

- 健康推進部次長 そのとおりである。
- 伊波一男 委員 県の配食サービスが届くまでの期間を補填する目的で事業を行っている認識しているが、県のサービスは申請から3日程度で届くと理解してよいか。
- 健康推進部次長 県のサービスについては詳細を把握していない。
- 健康増進課長 健康増進課では、申請の相談があった際にチェックリストを作成して陽性者となっているか、県の支援サービスを利用しているかなどの確認を行っている。県の配食サービスを知らない方には県のサービスを伝えた上で本市の支援サービスを利用させていただいている。
- 伊波一男 委員 県の配食支援が3日以内に届かない場合はどうなるのか。
- 健康増進課長 県に確認等を行いながら状況に応じて柔軟に対応したいが、現在のところ2回目の申請はなされていない。
- 濱元朝晴 委員 本事業は市民が対象となるのか。
- 健康増進課長 現に宜野湾市内で自宅療養している方が対象となる。
- 濱元朝晴 委員 陽性者は通常、2週間程度の療養期間が必要と理解してよいか。
- 健康増進課長 基本的には2週間かつ症状がなくなって3日間である。
- 知念秀明 委員 濃厚接触者はサービスの対象とならないのか。
- 健康推進部次長 自宅に陽性者がおり、外出できない場合は対象となるが、濃厚接触者であり、外出に制限がない場合等は基本的に対象外となる。状況によって柔軟に対応してまいりたい。
- 知念秀明 委員 濃厚接触者の中には経済的に苦しいという方もいるため、対象を幅広く、柔軟に対応していただきたい。
- 健康増進課長 電話で状況の聞き取りを行っているが、濃厚接触者の方でも保健所から外出しないよう指導されている方もおり、柔軟に対応している。本市のサービスは3日間であるが、ネットスーパーやデリバリーサービス等も案内している。
- 又吉亮 委員 物資以外の支援も検討したのか。
- 健康推進部次長 8月の陽性者の増加の状況も受け、市民の方が困っていることは何か検討し、物資の支援が必要と判断したものである。
- 又吉亮 委員 民間でも宅配サービスがあるが、それでも物資支援が必要と判断したのか。
- 健康推進部次長 沖縄市が8月1日から同様のサービスを実施していたほか、コロナ禍で仕事がなくなり、食に困っているため、配食サービスができないかとの要望

も受けていた。その際は県の療養施設の紹介等も行ったが、配食サービスが必要であることを認識したことから事業化を行った。

- 又吉亮 委員 宅配を依頼している方は備蓄食料がない方と思われるため、備蓄食料の重要性を周知するためにも、宅配の際に防災パンフレットを配布していただきたい。
- 呉屋等 委員長 ワクチン接種に関する質疑のある方はどうぞ。
- 伊佐哲雄 委員 高齢者の接種率はあまり変化が見られないが、接種を希望しているほとんどの方は接種を終えていると認識してよいか。
- 健康推進部次長 2回目接種を完了している方は80.2%となっており、集団接種会場でも高齢者の方はわずかという状況である。
- 伊佐哲雄 委員 想定内の状況か。
- 健康推進部次長 当初はインフルエンザワクチンの接種率を参考に65%程度を想定していたが、世界規模のパンデミックが発生したこともあり、想定より多くの方が接種を行ったと認識している。
- 宮城司 委員 本市の接種率は県内で最下位であるが、原因を伺いたい。
- 健康推進部次長 医療スタッフの協力やプロジェクトチームの体制等もあり、集団、個別接種の回数が他市より低いということが原因ではないかと考えている。
- 宮城司 委員 予算の問題があるのか。
- 健康推進部次長 9月から土曜日の午前、午後を増やしている。接種回数が増にはスタッフや中部地区医師会からの医師の数などもあり、調整をしながら進めている。国は11月までに希望者の接種を完了する見込みであり、本市としてもそれを目指して取り組んでいる状況である。
- 伊佐文貴 委員 医療機関での個別接種に関し、ワクチンの配分は市で行っているのか。
- 健康推進部次長 宜野湾市では配分を行っていない。病院からワクチンの数について要望を受け、保健相談センターがV S I Sを通じて県に情報を送り、県が調整して病院へ配送している。
- 伊佐文貴 委員 通院患者のみに接種を行う医療機関もあるのか。
- 健康推進部次長 本市の個別接種を行っている医療機関21カ所のうち、15カ所はインターネットや医療機関等で予約を受け付けている。残りの医療機関は通院患者の方等に対しての接種を行っている。
- 伊波一男 委員 予約は順調に行えているのか。
- 健康推進部次長 今週月曜に、10月2週目から末日までの予約枠を解放したところ

である。4月の高齢者接種の予約時においては予約が殺到していたが、現時点では10月末までの予約は埋まっていない状況である。9月の後半に妊婦の方や受験生の方に対する枠を拡大してはいるが、10月下旬までに5,000以上の空き枠がある状況である。

○伊波一男 委員 市民の何パーセントに接種する計画なのか。

○健康推進部次長 集団接種会場では約6万6,000人分、個別接種が約8万2,000回分、合計で14万9,000回の実施はできる体制を整えているところである。65歳以上及び12歳以上64歳未満の対象者8万7,000人分の2回、84%の方への接種を見込んでいる。

○伊波一男 委員 空き枠に関する周知はどのように行っているのか。

○健康推進部次長 SNS等で周知を行っている。

閉会時刻（午前11時00分）